

あつめよう

” 農地集積でより良い営農を築こう ”



岩沼地区で震災を契機として設立された農事組合法人玉浦南部生産組合

農地集積に関する各地の主な行事等

- 大河原地方農地集積指導チーム 令和元年度仙南地域農地集積研修会(1月23日)
令和元年度農地集積状況実績確認調査(2月14日)
- 仙台地方農地集積指導チーム 令和元年度農業経営力向上研修会(1月15日)
令和元年度第2回農地集積戦略会議(2月19日、28日、3月2日～3日、9日～10日)
- 北部地方農地集積指導チーム 令和元年度農地集積研修会(1月27日)
令和元年度農地集積実績確認調査及び第3回大崎地域農業農村活性化推進会議(2月19日～21日、25日～27日、3月3日、6日、10日～12日)
- 栗原地域農地集積指導チーム 令和元年度農地集積実績確認調査(2月18日、20日～21日)
令和元年度第2回農地集積戦略会議(3月11日、13日、17日)
- 登米地域農地集積指導チーム 令和元年度農地集積実績状況確認調査(2月4日)
- 東部地方農地集積指導チーム 令和元年度農地集積実績確認調査(2月3日～7日、17日)
令和元年第3回農地集積戦略会議(3月4日～6日)
令和元年度第3回石巻地域農地集積指導チーム会議(3月12日)
- 農村整備課 令和元年度第2回農地集積研修会(1月8日)
- みやぎ農業振興公社 令和元年度各管内農地集積実績確認調査並びに農地集積戦略会議等出席
- 宮城県土地連 令和元年度各管内農地集積実績確認調査並びに農地集積戦略会議等出席

特集：おらほの担い手

岩沼地区

1. 地区のようす

岩沼地区は宮城県の中南部にある岩沼市の南に位置し、東側は太平洋、南側は一級河川阿武隈川に接する平坦な沖積平野の水田地帯です。

本地区は水稻を基幹作物として施設園芸、露地野菜を中心に都市近郊型の農業を展開していました。しかし、東日本大震災による甚大な被害を受けて地域の農業再生と復興が課題となり、大区画ほ場の整備、用排水路・農道の整備等の営農環境の改善とともに、地域農業者の減少と農業者の高齢化に対し、中間管理事業を活用して、担い手へ復旧された農地の集積を進めています。

担い手は8法人が中心となって経営を担っており、平成30年度時点の農地集積の割合は全体の71.68%となります。

事業名：県営ほ場整備事業
関係市町村：岩沼市・名取市
関係土地改良区：名取土地改良区
工期：平成24年～令和2年
受益面積：A=769.9ha
農家戸数：513戸
H30実績集積面積：492.79ha(うち面的426.19ha)
H30実績集積率：71.68%(うち面的62.00%)



2. 法人化へのきっかけと支援

今回紹介する「玉浦南部生産組合」は、地区の担い手として平成25年2月10日に設立された法人です。

本地区では、東日本大震災に伴う大津波により住居や農地、農業機械・施設等が大規模に被災したことから、集落で農業を生業として生活していた人々により復旧された農地の維持・保全に関して、岩沼市と地元農家とでアンケート調査や幾度と話し合いを行い、地区の全農地を8つに分割し、法人設立によって農業経営を継続することとなりました。そのうちの1つが玉浦南部生産組合です。

当法人の区域は、津波危険区域に指定され住居の再建ができなくなったため、地区外からの通作によって2集落分の約100haを営農する大規模法人となりました。また、農閑期作業の創設を目指すため、設立当初より園芸用ビニルハウス7棟を整備してキュウリを栽培し、JA名取岩沼や地域のスーパーへ出荷、販売をおこなっています。



<ハウスきゅうり移植作業>



<地域スーパーでの農産物直接販売>

3. 法人「玉浦南部生産組合」の概要

(1) 概要

- ・名称: 農事組合法人 玉浦南部生産組合
代表理事 森 康彦
- ・構成員 20人(役員、従業員、パート等)
- ・受益面積(地区内外) 110.7ha

(2) 法人設立までの経緯

- ・H23年3月11日 東日本大震災による津波被災
- ・H25年2月10日 法人設立
- ・H25年2月28日 認定農業者取得

(3) 経営規模

- ・水稲 84.0ha (うち飼料用米等 14.4ha)
- ・大豆 24.2ha
- ・きゅうり 0.63ha

(4) 整備状況等

当法人では耕作地の30%を2.0ha区画のほ場に再整備し、大型農業機械の効率性を高めるとともに、用水路及び排水路をパイプライン・暗渠化したことにより、農道の草刈りに大型機械を導入し、省力化を図っています。また、東日本大震災の津波により全壊・流失した農業機械・施設は東日本復興交付金のリース事業によって整備しました。

耕地の維持管理については、多面的機能交付金事業を有効に活用して管理に努めています。



<機械による除草作業>



<住民参加の取組>

(5) 地区の集積と法人の実績

(単位: 面積ha、集積率%)

区分		H26	H27	H28	H29	H30
地区 全体	地区集積面積	208.95	257.16	450.91	475.69	492.79
	地区集積率	36.19	37.41	65.59	69.20	71.68
	うち面的集積面積	112.52	222.20	366.24	402.60	426.19
	うち面的集積率	19.49	32.32	53.27	58.56	62.00
玉浦南部 生産組合	法人集積面積	21.98	73.10	95.77	100.43	109.84
	法人集積率	3.80	10.63	13.93	14.61	15.97
	うち面的集積面積	16.74	67.79	91.80	98.64	107.63
	うち面的集積率	2.89	9.86	13.35	14.34	15.65

(6) 法人の目標

集団跡地を利用して園芸施設を増設し、葉物野菜や露地野菜の玉ネギ、長ネギ、仙台白菜などの多種栽培に取り組み計画としており、複合経営にて盤石な法人経営を目指します。

岩沼地区、令和元年度農業農村整備
優良地区コンクールの農業振興部門で
全国水土里ネット会長賞を受賞

農業農村整備優良地区コンクールは、毎年全国水土里ネット主催により、農業農村整備事業を契機として「豊かで競争力のある農業や美しく活力ある農村の実現」に取り組んでいる地区を対象として、今後の農業・農村地域の発展と振興に資する地区を「農業振興部門」と「中山間地域等振興部門」の2部門で表彰するものです。令和元年度は我が県から岩沼市・名取市の岩沼地区（玉浦南部生産組合）が農業振興部門に参加し、栄えある全国水土里ネット会長賞に輝きました。なお、予定されていた表彰式は、6月以降に順延となっています。

令和元年度 第2回農地集積研修会が開催される。

去る1月8日、県農村整備課主催により県職員の農地集積担当者を対象にした研修会が開催されました。

この研修会は、農地集積業務の遂行に必要な知識やスキルの習得や情報交換等により、幅広い対応力の養成を図ることを目的に開催され、今回の主な内容は農地集積の実績確認等となりました。

研修項目は、①農地集積の実績報告等について、②実績確認検査について、③事業管理表について、④実績確認検査について（例題）、⑤実績確認の実務について（シミュレーション）であり、それぞれ県庁、土地連、みやぎ農業振興公社の職員より説明を行いました。また、各事務所より資料の内容に関して「設定権利等欄の入力コード」や「事業管理表の整理項目」等について質疑や意見がありました。



<研修の様子>

【問い合わせ先】

宮城県土地改良事業団体連合会 換地部
（水土里ネットみやぎ）

〒980-0011

仙台市青葉区上杉二丁目2番8号 TEL:022-263-5815 FAX:022-268-6390

【ホームページURL】 <http://www.mlw.or.jp/center/>